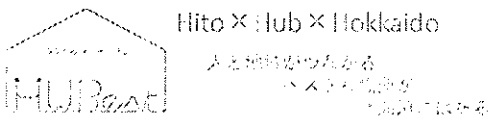


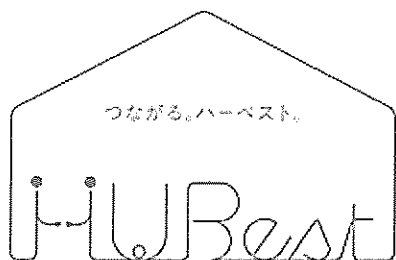


報道発表資料の配付日時 1月5日(水) 11時00分

発表項目 (行事名)	<p align="center">～ 北海道型ワーケーション普及・展開事業 ～  <b>「つながる。HUBest (ハーベスト)」</b>  <b>第1弾インタビュー記事の公開について</b></p>
概要	<p>道では、ワーケーション推進の取組として、北海道でのワーケーションの魅力をお伝えするため、<u>人と地域とのつながりを通じて新たな活動を生み出すことができるワーク施設と、そこでの出会いを創り出すコンシェルジュを、『つながる。HUBest (ハーベスト)』と題し、インタビュー形式で、道内外のワーケーション関心層等に広く紹介することとしました。</u></p> <p>このたび、本取組のネーミング・ロゴを製作すると共に、<u>取組の第1弾として「大人座 (札幌市) 五十嵐 慎一郎氏」のインタビュー記事を北海道型ワーケーションポータルサイトや道HP等で公開しましたので、お知らせします。</u></p> <p><u>ワーク施設及びコンシェルジュに着目した新しい取組となりますので、積極的な報道をよろしくお願ひします。</u></p> <p>「つながる。HUBest (ハーベスト)」及び第1弾インタビューの詳細については、<u>別紙をご覧ください。</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>つながる。HUBest (ハーベスト)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>「つながる。HUBest」 (道HP内)</p>  </div> </div>
参考	<p>先月公開された、大人座が所在する札幌市のワーケーションサイトについても、連携した取組として道ポータルサイトで紹介しています。 <a href="https://worcation.sapporo.travel/">https://worcation.sapporo.travel/</a></p> 
報道(取材)に当たってのお願い	<p>今後、道内各地域の取組の中心となっている施設・人物を月1回程度紹介する予定ですので、積極的な報道をお願いします。</p>
他のクラブとの関係	<p>同時配付 (場所) 同時レク</p>
担当(連絡先)	<p>(北海道) 総合政策部地域創生局地域政策課          担当：工藤 TEL：011-204-5089          内線：23-479</p>

# つながる。HUBest (ハーベスト)



Hito × Hub × Hokkaido

人と地域がつながる  
ベストな場所が  
北海道にはある

## 取組概要

ワーケーションの魅力の一つでもある、人と地域とのつながりを通じて新たな活動を生みだすことができるワーク施設と、そこでの出会いを創り出すコンシェルジュをインタビュー形式で道内外のワーケーション関心層等に広く紹介することで、ワーケーションの推進、ひいては関係人口の創出・拡大へとつなげる。

## 「つながる。HUBest」対象施設

- コワーキングスペース等テレワークできる施設
  - 地域を良く知る、地域とつなぐ、魅力を紹介できるコンシェルジュがいる施設
  - ドロップインなど誰もが気軽に利用できる施設
  - 地域住民も利用している施設
- 上記に該当する道内施設をリレー形式のインタビュー記事で紹介（月1回程度）

## インタビュー掲載ページ

- 北海道公式HP内「つながる。HUBest」のページ  
URL : [www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/hubest.html](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/hubest.html)



- 北海道型ワーケーションポータルサイト、公式SNS

ポータルサイト



FaceBook



Instagram



※本取組は「北海道型ワーケーション普及・展開事業」の一環として実施しています

**Hokkaido × Work × Vacation**

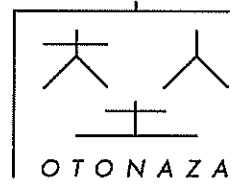
つながる。感じる。生まれる。北海道だからできるワーケーション。



「つながる。ハーベスト」第1弾

大人座 (札幌市)

五十嵐 慎一郎 氏



「人と人・地域がつながる、ベストな場所(ハブ)が北海道にはある」ということで、「つながる。ハーベスト」と題し、道内のオススメのワーク施設とそこで出会いを創り出すコンシエルジュをご紹介します。インタビューシリーズ。

その第1弾として、大人座の五十嵐 慎一郎さんにお話を伺いました。

「大人座」とは？

「まずは、この「大人座」のコンセプトについてお聞きしたいのですが。」

「様々な出会いが生まれる力オスな秘密基地」ですかね。以前、東京で「The SNACK」という「ワーキングスペース」を運営していました。起業家やクリエイターなど様々な人が出入りして「こんなことやろうよ」とどんどん新たなプロジェクトやビジネスが生まれていきました。地元の札幌でそういった化学反応を起こしている場所はとて少ない気がして。地元につくりたいな、つくっちゃおうと(笑)

「フットワークの軽さですね。」

「「ワーキングスペース」というと行きづらいうか、名前を知らない人も多いですし、行っていないのかな？となる人もいると思うので、小難しい



ワーキングカフェ&バー 大人座 OTONAZA

仕事にも遊びにも使えるカフェ&バー。日中はワーキングカフェとして、夜は人との交流を楽しむ「緩やかな」会員制のバーとして利用できます。もちろん、終日Wi-Fi&電源の利用が可能です。



「どういう人に来て欲しいというのはありますか？」  
「なんかちよっとチャレンジしたいなとか、もつと面白い人に会いたい」という人だどより楽しく使っていただけじゃないかな。あと、道外の人が札幌に遊びに来るときにも、立ち寄る拠点として使ってもらって、札幌の面白い・面白い場所とつながるきっかけにして欲しいというのはあります。」

大人座から「つながる。」エピソード

「大人座を通じた人と人とのつながりで、新しい取組が生まれたなど、そういったエピソードをお聞かせ下さい。」

今座っているカウンターの席で生まれたのが「あしたのしあたま」というプロジェクトです。「コロナ禍で色んなイベントが中止になる中で、それでも皆で楽しめることをやりたいねと飲みながら話していた、その時のアイデアの一つが、「ドライブインシアター」でした。その場で、「いいね、それやろうよ」と地図サイトで大きな駐車場と白い壁がある場所を探すと、いうスタートでした(笑)

「ここで探したんですね(笑)」  
その後、映画関係者はじめ賛同してくれる仲間も増えて、道内6箇所ドライブインシアターを開催しました。また、札幌にある芸術の森を舞台に、ラジオ



「大人座」でインタビューに応じる五十嵐氏。内装には白樺が使われており、北海道らしさを感じられる。

電波で音楽を配信して、皆がイヤホンで聴きながら楽しむ「世界一静かなフェス」等の企画は、本当にここで飲みながら話していたのが形になったものです。

「こうやって企画が生まれる場所があるのは、五十嵐さんやスタッフあってこそだと思いますが、運営にあたって心がけていることはありますか？」  
そうですね。なっちゃん何かありませんか？  
(スタッフのなっちゃん)来たお客様とコミュニケーションをとるようにしています。どんなことしているかとか、その人を知るといことは、特にカウンターに座られたら話せるので、それも楽しいなと思います。

「スタッフから積極的にコミュニケーションをとっていたら場所とどうですか？」  
混んでない時は(笑)あと、スタッフ含め僕たちも、来てくれた人やつながった人と一緒に楽しむようにしています。

大人座HP



住所：札幌市中央区南1条西1丁目3 板谷ビル8階  
(地下鉄大通駅37番出口から徒歩1分)  
HP：www.otonaza.com  
※営業時間等詳細はHPをご確認ください。

★耳より情報★

本記事を見て、大人座で人とのつながりを楽しみたいと思った人は、「五十嵐さんの記事みました！」と言えば、夜のパーティムもご来店いただけます。

つながる  
HUBest

株式会社大人 代表取締役社長  
五十嵐 慎一郎 氏



小樽市出身。小中高を札幌で過ごし、東京大学建築学科卒業後、不動産関連のベンチャー企業に入社。新規事業として、銀座にコワーキングスペース「the SNACK」を立ち上げ。

2016年に独立し、株式会社大人を設立。大人座を始めとするコワーキングスペース運営の他、北海道移住ドラフト会議、サッポロビール(株)との「ほっとけないどう」プロジェクトなど、北海道から世界をちょっぴり面白くする活動に精力的に取り組んでいる。

地域と「つながる。」

「コワーキングスペースには、人と人だけでなく、「地域とつながる」というイメージをお持ちの人もいらっしゃると思います。大人座や運営されている「大人」さんでの、地域とつながるエピソードについて教えてください。

大人座は「ほっとけないどう」というプロジェクトの拠点になっています。サッポロビールの社の全面支援のもと、北海道で新たなチャレンジをする人のプレゼンイベントを定期開催してまして。大人座やオンラインで購入したドリンクの売上の一部が、登壇者に寄付される「カンパイ★ファンディング」という仕組みになっています。大人座で飲めば飲むほど、北海道の応援になっちゃうんです。



現在シフト入りしているスタッフは13名  
スタッフが考案したドリンクも楽しめます！

まさに地域とのつながりを創り出す、ベストなハブの一回目としてふさわしいと思いがち間かせていただきました。五十嵐さんは「北海道移住ドラフト会議」などにも取り組んでおられますが、ご自身はどういうきっかけで北海道でのお仕事をスタートされたのですか。

「札幌移住計画」というプロジェクトを2014年に立ち上げたのがはじまりです。自分自身が30歳前後になり、東京でバリバリ働いている中で、ふと見えてくる地元の北海道や札幌がやっぱりいいなという思いと、一方で、地元でいろいろな取組が行われているけど、まだ地域の魅力を活かしきれないよなという思いがありました。折良くパソコン一台あればどこでも働ける時代になってきて、札幌に戻れたらいいなとか、行きたいなと思っている人も沢山いるし、その人達をつないで盛り上げる活動を続けてきました。そんな中で鹿児島島のチームが思いついたドラフトっていう形式が面白くない？それめっちゃいいね！北海道でもやるう！と動き出したのが、「北海道移住ドラフト会議」ですね。

リアル  
コミュニケーション

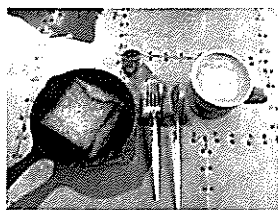
「いま、コロナ禍やテレワークの進展でオンライン会議も増えている中で、リアルでの「コミュニケーション」も大事かと思えますが、その辺の思いはありますか？

WEBで探せばなんでも情報はあつてつながるうと思えば誰でもつながれるはずなんですけどね。ただやっぱり、動物的な部分があるのかなと思つていて。直で話して生まれる部分とか熱量とか、フィードバックというのは、やっぱりリアルな場の面白さだと思います。あとは偶然性って大事ですよ。たまたま来たら、たまたま力ウンターに座っていた人とノリがあつてというの、リアルな場の面白さだと思いますし、好きですね。

大人座のフードメニュー



『スペシャルパルフェ』  
ミシュラン一つ星「TATEOKA TAKESHI」とのコラボパルフェは、いちご、フランボワーズ、ブルーベリーにパルサミコソースをかけた見事なマリアージュ♪



『自由大人のフレンチトースト』  
東京・自由が丘にある「パンとエスプレッソと自由形」の食パンを使ったカリカリふわふわのフレンチトースト。こちらの食パンは、北海道産小麦で作られています♪

※メニューは変更となる場合がありますが、常時魅力的なフード&ドリンクを堪能することができます！

最後に、このインタビューを見て、道外や札幌市外から来られる人に向けてメッセージをお願いします。

この数年で札幌も北海道もめっちゃめっちゃ動きが加速していると思つてますね。若い新しいプレイヤーが続々できていますし、そのプレイヤー同士がこの数年でかなりつながつたと思います。道外から遊びにくる人がいらつしゃれば、是非色んな地域でチャレンジしている人たちが会つてもらいたいですし、こんな面白い人が地域にいますんだと知つてもらえると、北海道をより楽しめると思うので、是非単なる観光じゃない、もう一歩踏み込んだ北海道滞在をしてもらえると嬉しいですよ。

ありがとうございました！これにて、第1回目の「つながる。ハーベスト」を終わりたいと思つていますが、次のインタビュー先として、ベストな場所(ハブ)をご紹介いただけませんか？

素敵な場所が続々と増えていますよね。今回は厚真町の「イチカラ」を紹介させていただきます。多様な利用者がいて、地元の中高生がエトキを使ったり勉強している一方で、地域のおじいちゃんおばあちゃんまで遊びにくる。しかも運営している成田くんが道内外のプレイヤーと沢山つながっているの、官僚からスタートアップの社長、フリーランサーまでが全国から集まるっていう意味で凄いハブだと思つています。

というところで、次回は「厚真町コミュニティスペースイチカラ」の成田さんにお話しをお伺いします。お楽しみに！